



WORK Seeker MX ×VW GOLF GTX

メカニカル×クロススポーク! カスタム感満点の超新作ホイール

ワークから登場した2020年度の新作ホイール。シーカーMX。イメージはシャープで、カラーで遊べるシーカーらしさもしい。カーハウスヒーブ製作のゴルフ5GTXに見事にマッチングしている。

写真撰文 河野浩志
制作ワーク TEL.05-9746-2959 www.work-wheels.jp
撮影地カーハウスヒーブTEL.0748-31-4333 www.carhousesp.jp

→ピカピカボディをメカニカルに表現するため、ディスク裏面にはデザインフルのデザインをあしらっている



→D.O.G. WHEELSのワークロスアンダーワークス(2020)製オーパーフェンダーは片側75mmという超ワイドサイズ

→クラシカル要素を高めるステップアップのみを設定。ディスク外側の10スポークはディレクションさせてデザインに動きを与えた

→メインディスクはワーク伝統の10交点スポークを採用。足を短く表現することでクラシカルなイメージも加わった

→装着サイズはフロント10×18-17、リア11.5×18±0というオーパーフェンダーだからこそ組み合わせさせた



→インベリアルゴールド(IPG)は、気品に満ちたクリアゴールドが質感を底上げするカラー。アンラシ、カットクリアより+6,000円アップにてカスタマイズ注文OK

→そんなシーカーMXを華麗に輝かせるのが、カーハウスヒーブ製作のゴルフ5GTX。オリジナルブランドのD.O.G. WHEELSのスポイラーとオーパーフェンダーを装着し、片側75mmのワイドシルエットで迫る強烈な一合だ。もちろんボデーにはカスタムサイズのホイールが必須というところで、今回はフロント10J-17、リア11.5J±0の超ワイドサイズを用意し、エアサスによってフェンダー内に収めてみせた。カラーは左側面にはカットクリア、右側面にはカットクリアを選び、左右で全く異なる表情を見せる。両カラーともメインディスクの天面を切削加工したカットクリアなので、メカニカルなデザインにアルミ独特の光沢が加わり、イメージは非常にシャープ。そこからカラーで遊べるシーカーらしく、カットクリアを加えた右側は、とにかくカスタム感満点の出来栄だ。

メカニカルなイメージをクリンに表現!

ワーク・シーカーの新作は、メカニカル×クロススポークの意味が込められたこのMX。ご意のままにデザインは非常に複雑で、数多くのラインが走るシルエットは、確かにメカニカルという表現がふさわしい。デザインを詳しく見ると、独特なダブルフェイスとは異なる、独創的なアイデアによって造形されていることが分かる。いわゆるメインディスクはワークお得意の10交点のクロススポークシルエットなのだ。その外側に、極短い10スポークシルエットを組み合わせたデザインとなっている。これまで異なるデザインを重ね合わせてきたダブルフェイスデザインを、内と外で明確に分離することで、それぞれをクリンに際立たせているのが面白い。実はこのホイールの下敷きには先行リリースされていたワンカドMXが存在するが、外側のスポーク数だけでなく、本作では内外ディスクを区切るラインをハッキリと表現することで、立体感が高まり、より別体化が進んだデザインとした。さらに、メインディスクが浮き立つことで、クロススポークが短く見え、小径ホイールのニュアンスが高まり、結果としてクラシカルな印象となつている。また歴代シーカーと同じく、アスボルトレスのヒース構造を採用し、本来であればアスボルトがある位置にディンプル加工を施すことで、組み立てホイール由来のメカニカルなイメージを、クリンに表現しているのも特徴だろう。